

令和3年度秋田市指定文化財資料

- | | | | | |
|---|---|---|--|----------------|
| 1 | 名 | 称 | 勝平神社の石造狛犬 | |
| 2 | 員 | 数 | 一対 | |
| 3 | 種 | 別 | 有形文化財（歴史資料） | |
| 4 | 所 | 在 | 地 | 秋田市保戸野鉄砲町4番28号 |
| 5 | 所 | 有 | 者 | 宗教法人勝平神社 |
| 6 | 寸 | 法 | 阿形 狛犬 高さ79cm、幅36cm
台座（狛犬と一体）高さ10cm、長辺66cm、短辺36cm
台座（刻字がある）高さ40cm、長辺84cm、短辺53cm
咩形 狛犬 高さ81cm、幅36cm
台座（狛犬と一体）高さ11cm、長辺66cm、短辺35cm
台座（刻字がある）高さ42cm、長辺82cm、短辺51cm | |
| 7 | 年 | 代 | 文化6年（1809） | |
| 8 | 説 | 明 | | |

本物件は、秋田市保戸野の勝平神社に所在する石造の狛犬である。

勝平神社は大同2年（807）坂上田村麻呂の遠征の際に勝平山に勧請され、康平年間（1058～1065）源頼義が勝平明神の名で再建したとされている。その後、寛文2年（1662）川尻毘沙門町へ、延宝6年（1678）八橋箱岡への遷座を経て、俵屋火事での社殿焼失を機に、明治20年（1887）現在地に遷座した。なお、八橋では毘沙門堂と呼ばれたが、俵屋火事の後珍宝神社に、明治25年（1892）勝平神社に改称された。

狛犬の形態は、作風としての大まかな分類では浪花風（畿内で多く見られる作風）の特徴を持っている。石材は、狛犬本体が和泉石（大阪府泉南地方・阪南市で産出）、台座が白御影石（瀬戸内地方で産出）と考えられる。台座には、「文化6年奉獻」「佐藤與吉郎」「八幡丸」「金比羅丸」「㊦」などの刻字があることから、船に関わりがある佐藤與吉郎という人物が文化6年（1809）に奉納したものであることが分かる。勝平神社の沿革からすれば、八橋に所在した毘沙門堂の時代に奉納されたことになり、現在地への遷座に際して狛犬も移設されたと考えられる。

佐藤與（与）吉郎については、渋江和光の手前給人（註1）で川尻に居住する人物として『渋江和光日記』に、文政8年（1825）新家（註2）に召し出された人物として『秋田武鑑』に名前がある。一方、島根県浜田市の外ノ浦港に残る廻船の記録で浜田市指定文化財である「諸国御客船帳」には、地名「久保田」、船名「八幡丸」「金比羅丸」、船主「佐藤与吉郎」、帆印「㊦」の記載とともに、「米御売、平子干鰯御買」などが記されている。

これらのことから、勝平神社の石造狛犬を奉納した佐藤與（与）吉郎は、渋江和光の手前給人で、後に藩主に新家として召し出された人物であり、かつ、西廻

り航路を利用した買い積み商船である北前船の船主として商船活動を行っていたことを窺い知ることができる。一方で、「諸国御客船帳」に佐藤與（与）吉郎の在所在が「久保田」とされていることは、城下における川尻の位置づけを考える上でも興味深い。

本物件を通じて、①河川舟運の要衝である川尻に居住する有力者が日本海で商船活動をしていること、②新家・手前給人の活動内容の一端、③城下町に隣接する川尻の位置づけ、④江戸時代後期における北前船による交易やモノの伝播などを知ることができる。以上のように、本物件は、複合的な要素を物語る資料として、当該期の社会・産業構造などを知るうえで貴重である。

- 註1 手前給人 有力家臣の家来の内、主人の居住地と離れた農村に常住しており元は農民であった者が、その村に知行地を持つ有力家臣の新田開発に多大な貢献をした功績により有力家臣の家来に取り立てられ主人から知行地を分与された在村の武士のこと。
- 註2 新家 地主や商人が藩に金銭や米を献上したり、又は開発、植林、産物の取り立てなどで功績があったとの理由で新しく武士身分になった人のこと。

参考文献

- 新秋田叢書編集委員会編 1977 「羽陰温故誌」『第3期新秋田叢書（3）』
柚木学編 1977 『諸国御客船帳 上巻 清文堂史料叢書第12刊』
柚木学編 1977 『諸国御客船帳 下巻 清文堂史料叢書第13刊』
新秋田叢書編集委員会編 1978 「秋田名蹟考」『第3期新秋田叢書（13）』
株式会社平凡社 1980 『日本歴史地名大系第5巻 秋田県の地名』
三浦賢童編 1983 『秋田武鑑』
川尻史談会1989 『川尻乃史跡』
秋田県神社庁編 1991 『秋田県神社名鑑』
秋田県公文書館編 1996 『渋江和光日記 第1巻』
秋田県公文書館編 1997 『渋江和光日記 第2巻』
秋田県公文書館編 1998 『渋江和光日記 第3巻』
秋田県公文書館編 1998 『渋江和光日記 第4巻』
秋田県公文書館編 1999 『渋江和光日記 第5巻』
秋田県公文書館編 1999 『渋江和光日記 第6巻』
秋田県公文書館編 2000 『渋江和光日記 第7巻』
秋田県公文書館編 2001 『渋江和光日記 第8巻』
上杉千郷 2001 『狛犬事典』
秋田県公文書館編 2002 『渋江和光日記 第9巻』
秋田市 2003 『秋田市史 第16巻民俗編』
大城屋良助編 2006 「東講商人鑑」『復刻 東講商人鑑』
たくきよしみつ 2006 『狛犬かがみ』
半田和彦 2016 『秋田藩の用語解説』

勝平神社の石造狛犬



吡形 側面



阿形 側面



吡形 正面



阿形 正面



吡形 台座
「奉獻 佐藤與吉郎」の刻字



阿形 台座
「**三**」の刻字